

CONTENTS

- 1 本は、図書館は、どうなるのだろうか
大学院ビジネス研究科教授：吉原 英樹
- 2 学部長おすすめの本
法学部教授：副田 隆重
- 4 データベース紹介 マクロ経済データベース
International Financial Statistics (IFS) Online について
 経済学部講師：吉見 大洋
- 6 図書館の使い方いろいろ
閲覧・参考係、教育研究支援係
- 9 図書館研修生を体験して
図書館研修生：鮫島 悠
- 10 資料紹介
～英米児童文学賞受賞作品のコレクション
 図書選定委員：藤田 三保
- 12 秋学期図書館利用講習会のお知らせ
 南山大学図書館秋の企画展のお知らせ
 編集後記

本は、図書館は、どうなるのだろうか

吉原 英樹

南山大学にきて最初の年の授業「経営学総論」(2005年秋)でわたくしは学生に、教科書など本を読む時間をたずねてみた。毎日30分以上の学生はゼロ、1週間では30分から1時間が13名、1-2時間が1名、あとは1週間ほとんど本を読まない。本を読む場所としては、電車のなか、あるいは駅のベンチなどのほうが多く、机のうえに本をおいて読むことはまれなようである。

学生・若者は新聞も読まないようである。ちなみに、わたくしの長男夫婦・長女夫婦はともに新聞を購読していない。

「伸びる電子書籍市場」(日本経済新聞、2011年5月30日)によると、米国では、書籍売上が減少すると対照的に電子書籍が10年間で2.6倍と急増している。電子書籍が書籍を追い越すのはそれほど先のことではなさそうである。

図書館は、いまのところ、「本すなわち図書の館」である。パソコンは図書・雑誌・新聞の検索などに使われているが、脇役である。もし、本が電子書籍に代わるならば、パソコンあるいはスマートフォンなどデジタル機器が中心の場所になるのだろうか。そのときは、図書館は「情報館」「IT館」「インターネット館」「デジタル館」などと呼ぶのが適当な場所になっているかもしれない。「本・図書もあります」ということになるのだろうか。

わたくしは70歳と高齢であるためか、それに保守的な性格のためか、本は書物で読まないと感じつかない。電子書籍とは縁がない人間である。もうひとつ、活字の本を読む(できれば机のうえに本をおいて読む)ほうが、パソコンやスマートフォンの画面で電子書籍を読む(見る)より、学力がつくと信じている。

1985年であるから、もう25年以上も前のことになるが、アメリカ人の研究者から不思議がられた。なぜ、日本の銀行のATMは土日、夜間に使えないか。いまでも、コンビニなど一部をのぞいて、1日24時間365日利用可能は実現していない。これと同じようなことが、図書館にもいえるようである。国際教養大学(秋田県)の図書館は、365日・24時間開館している(日本経済新聞、2011年5月11日)。1日24時間365日利用可能な図書館は、ほかにあるだろうか。

デジタル革命の先進国のアメリカでは、大学の図書館はどのようになっているのだろうか。いまでも「図書の館」なのか、それとも「情報館」「IT館」「デジタル館」に変身しているのだろうか。1日24時間・365日利用可能か。

わたくしは、本の将来、図書館のこれからの変化に、たいへん興味がある。

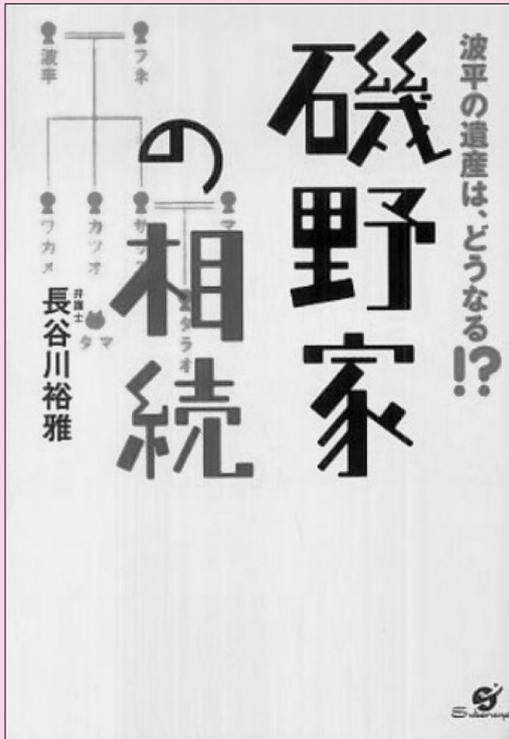
(YOSHIHARA, Hideki: 大学院ビジネス研究科教授)

学部長
おすすめの書

磯野家の相続

長谷川 裕雅著 (すばる舎 2010年)

副田 隆重



長谷川裕雅著

『磯野家の相続』すばる舎、2010年

請求番号：324.7K/334

今回、図書館からの依頼で、図書館報に読者向けにおすすめの本の紹介を引き受けることになった。そこで、まず思い浮かんだのは、学生諸君を念頭において、私自身が約40年前の学生の頃に読んで感銘や影響を受けたものから選ぶことである。当時およそ文学青年でも哲学青年でもなかったとはいえ、感銘を受けた著作もあるし、好んでほぼ全作品を読んだ作家もないではない。とはいえ、その時々に関心深く読んだことは間違いないが、人様にそれを勧めるには、多少なりともその根拠が必要であろう。ただ時代も流れ、残念ながらそれは忘れてしまって容易に思い出せない。そこで、当初の方針は断念して、比較的最近のもので、ハウツーものも含め興味深く読むことができるものとして、この本を取り上げることにした。

本書は、弁護士である著者が、磯野家つまりサザエさんの家庭を題材にして、遺産相続や遺言をめぐる法的なルールについてわかりやすく説明したものである。

まず、相続とは、大雑把に言えば、ある人が財産を残して死亡した場合に、その人と一定の親族関係にあった人（相続人と呼ばれる）や遺言において遺言者が指定する人に、財産が受け継がれる法的しくみをいい、古今東西の社会に広く存在する制度をいう。大学の法学部においても民法の一部である家族法の中で取り上げられる。

最近では、「法教育」として、憲法や契約、裁判に関して、法のしくみが中学校や高校でも取り上げられ、また法的なトラブルとして、実際に学生自身が経験しそうな場面として、交通事故の被害者・加害者のケースやいわゆる悪徳商法の被害ケースが挙げられる。実は、相続はそれら以上に身近ともいえる。というのは、身内の死に遭遇することを避けることはできないとすれば、たとえば、学生の父方の祖父がなくなり、その遺産をめぐる相続人（祖母のほか両者の間の子（学生の父、おじ・おば））である親族の間で遺産争いが起きることは今日では珍しくない。中には、話し合いが付かず、弁護士に相談したり、身内の間で裁判となることもまれでなく、しかも、こうした紛争は近年ますます増加の傾向にある。仲のよかった兄弟姉妹が親の遺産相続でもめて、

以後は敵（かたき）同然となることもあり、相続は「争族」（そうぞく）とも書くといわれる。

次に、本書の舞台となるサザエさんについては、新聞の四コマ漫画やテレビ・アニメで多くの人はご存じかと思うが、家族法を勉強する際の教材としては大変都合がよい（私自身も講義の際取り上げたことがある。「タラちゃんとイクラちゃんは法律上の親族か？」）。具体的な事例に即して紛争解決ルールを説明する法律学の講義では、とくに相続の場面は、なるべくタイプの違う近親者が登場する必要がある、この点、サザエさんの場合は多様である。両親である波平・フネ夫婦、弟カツオ、妹ワカメのほか、夫フグ田マスオ、子のタラオ、さらに、波平の甥にあたるノリスケやその妻タイコ、二人の子イクラまで登場し、さらに磯野家にはペットのタマもいる。

さて、本書は、「どんなに幸せな家族でも必ずモメる」（本書の帯）相続について、まず相続人の範囲、相続財産の範囲、相続分（遺産に対する分け前）、遺産分割のしかたといった基本知識を説明し、他方で、遺言の効力やしゅくみ（遺言は法定相続に優先するが、遺留分という限界があること）、具体的に有効な遺言書の作成の方法や必要な書類や費用（全文を自筆で書く自筆証書遺言の場合費用はいらないが）等々の決まり事につきわかりやすく説明をしている。

登場人物に即して内容の一部を紹介すると、波平の遺産相続につき、サザエが波平より先に死亡していたらどうなるか、波平に隠し子がいたとしたらその子は相続人となるか、サザエの夫であるマスオは義理の父波平の遺産を相続できるか、波平に高額の借金があった場合はどうなるか、といった場面のほか、とくに飼い猫のタマに遺産を残せるかが取り上げられているのも興味深い。もちろん、猫のタマが相続人として権利を持つことはないし、猫を受取人として財産を残すことはできない。しかし、遺言により、安心してタマの面倒を任せられる人に対して、世話を託しつつタマとともに財産を贈るといふ、負担付き遺贈（いぞう）の方法がある。この場合、「持参金」付きでタマをもらった人（受遺者（じゅいしゃ）という）は、その代わりに、タマの面倒を見るという負担を負うのである。さらに、遺言者として、その受遺者がきちんとタマの面倒をみってくれるかが心配であれば、別人を遺言執行者に指定して監視役としておくこともできる。まさに、猫には小判でも、小判の効用はやはり人には何よりなのである。実際、一人暮らしの高齢者がペットを飼っているような場合に、飼い主の死後、ペットの管理をどうするかは、非常に切実な問題でもある。このことは、すでに著者と同業の木村晋介弁護士によるエッセイ集『ネコのために遺言を書くとすれば』（本の雑誌社・1999年）の中で、同氏による「愛猫のために遺言を作ろう」という講演会が大盛況であった旨の紹介があることから窺い知ることができる。

遺産相続や遺言をめぐるルールを説明する本書では、それだけにとどまらず、上に述べた飼い主死後のペットの行く末の工夫のほか、自分の死後に遺産をめぐる子どもたちの間で抗争が生ずることを回避するための工夫（財産や遺言を残す者の立場に立って）などについても当然触れている。もちろん、学生諸君が財産や遺言を残す者の立場で考えることは当面、現実的ではないが、人の死が避けられないものであり、人の死により財産（しばしば高額である）の承継が生ずる（しかももらう側からすれば、棚からぼた餅）との法的しゅくみを前提として、夫婦・親子・兄弟という複雑な人間関係（場合により愛人や隠し子がからむ）の中で、遺産という「ごちそう」を仲良く分け合うことの難しさや人生の機微の一端を、本書から垣間見ることはできるのではないか。

データベース紹介

マクロ経済データベース International Financial Statistics (IFS) Onlineについて

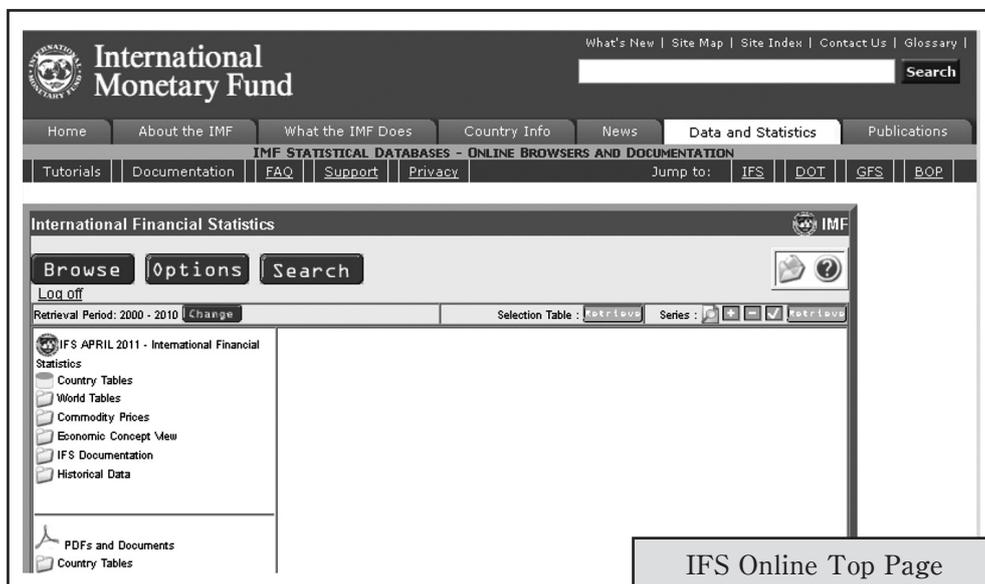
吉見 太洋

学生の皆さんが卒業論文やゼミのレポートを書く際に、最も困ることの一つがデータの収集だと思う。経済学部で私が担当するゼミでもデータを使ったレポートの執筆と提出を課しているが、調査を進める上で「設定した問題を論じる際、どういったデータを用いれば良いか?」、「そうしたデータはどこから入手すれば良いか?」という質問を学生から盛んに受ける。

マクロ経済に関する一般的なデータを調べるという点で見れば、前年度より本学に正式導入された International Financial Statistics (以下 IFS) Online データベースは極めて有益なものであり、必須のデータベースと言える。少なくとも通常のマクロ経済学の講義で登場する、GDP、物価、失業率、インフレ率、利子率、貨幣供給、為替相場、貿易収支といったデータを調べることに限定するならば、IFS Online のみで一通り困ることはないであろう。

例えばある学生が卒業論文として、円高と日本の貿易収支の関係に関する実証研究を行いたいと思ったとする。このとき、この学生が最初にやるべきことは、円高などの為替レートの動きが一国の貿易収支にどのような影響を与えるか、理論的に学び、仮説を立てることである。これについてはマクロ経済学や国際金融論などの講義を真面目に受講していれば自ずと出てくる話である。もし忘れてしまっていたら当時の講義ノートを引っ張り出してきて、おさらいをすれば良い。理論仮説が定まり、最小二乗法などの実証分析手法を決定したら、次に待っているのがデータを集める作業である。

この学生が手に入れなければならないデータは最低2種類である。第一に日本の為替レートのデータを手に入れなければならない。第二に日本の貿易収支のデータを手に入れなければならない。輸出と輸入それぞれについて影響を考えれば、ネットの貿易収支でなく、輸出と輸入それぞれの額が必要である。輸出入には日本やその他の国の所得が影響を与えているかも知れない。



仮にゼミの教官が日本だけでなく、各国の貿易収支に対する各国の為替レートの影響まで調べてみると世話を焼いたら、日本以外の国についてもこれらのデータをかき集めなければならない。しかも真面目に実証分析をすれば、かなり長い時系列でデータを集める必要があるだろう。これら膨大なデータを、初めて実証分析を行う学部生が各国政府機関のウェブサイトや統計資料からバラバラに集めようとするのは非常に大変なことである。IFS Online を使えば、このような世界各国のマクロ経済データを一括して手に入れることが出来る。前段の例に登場したようなデータであれば、手馴れた人ならば20分とかからずに、すべてとり揃えることが出来るはずである。

IFS Online は、IMF（国際通貨基金）が発行する「International Financial Statistics（国際金融統計）」のオンライン版で、IMF 加盟国を軸とする世界200以上の国のマクロ経済統計を簡単にダウンロード出来るサービスである。しかも（データにもよるが）、1948年からの長期時系列データが、年次、四半期、月次それぞれの頻度で用意されている。このようにきわめて便利なデータベースであるため、多くの大学や研究所等でも導入され、世界中で広く研究や教育に利用されている。

南山大学でも学内のパソコンであれば、IFS Online に自由にアクセスすることが出来る。マクロ経済に関する実証分析を行いたいときや、レポート作成にあたってマクロデータを入手する必要があるときには真っ先に利用してみたい。学生の皆さんが比較的手馴れている（と思われる）エクセルファイルでデータを得ることが出来るため、ダウンロードしてすぐにでも、図表を使って時系列の推移を確認したり、データの編集を行ったりすることが出来るであろう。

最後に当然のことではあるが、IFS Online はあくまでマクロ経済のデータベースであり、これがあればすべてが済むというものではない。例えば日本の海外に向けた総輸出額は知ることが出来るが、日本の対米輸出額のデータは手に入れることが出来ない。また、日本全体の総生産は知ることが出来るが、トヨタ自動車単体の生産量は収録されていない。あるいは、日本全土の平均的な預金金利水準は知ることが出来るが、三菱東京 UFJ 銀行と愛知銀行のどちらの預金金利が高いかを知るには役不足である。本学ですでに IFS Online 以外にも、OECD iLibrary や eol など複数のデータベースが利用可能である。学生の皆さんが各々の目的に応じてこれらのデータベースを横断的に活用し、自らの勉学の糧としてくれることを強く願っている。

International Financial Statistics (IFS) Online

<http://www.imfstatistics.org/imf/>

※図書館 Web ページ <<http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>> からアクセス可能
【電子ジャーナル・DB】 → 【名古屋図書館または瀬戸図書館】 → 【IFS Online】

吉見作成の IFS Online 簡易マニュアル

<http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/database/imf/ifsmanual.pdf>

図書館の使い方いろいろ



1 文献はこう集める！

“人は一冊の本を作るために、図書館半分をひっくり返す” サミュエル・ジョンソン（英国の詩人）

図書館は本を借りるだけの場ではありません。図書館の Web ページには、データベースなど、文献を効率よくさがせるツールがたくさんあります。サミュエル・ジョンソンのことばではありませんが、みなさんも図書館をひっくり返すくらい使って、レポート・論文を書いてみませんか。たとえば、「震災について知りたい」場合には、次のようなツールが使えます。

<p>■ 新聞記事</p> <p>1 現在・過去の震災記事を探し、本文を読めます。新聞記事 DB では、キーワード検索ができ、一部の記事は切り抜きイメージも見られます。</p> <p>2 新聞記事 DB (図書館 Web)、CD-ROM / マイクロ資料 (マイクロ室)</p> <p>3 新聞縮刷版 / 新聞原紙 (新聞保存庫)、南山大学図書館所蔵新聞一覧 (図書館 OPAC)、新聞各社 Web へのリンク (図書館 Web)</p>	<p>■ 図書</p> <p>1 総合目録 DB を使えば、震災の歴史・行政の取り組みなどの本をキーワードで網羅的にさがせます。</p> <p>2 Webcat / 愛蔵くん (図書館 Web)、WorldCAT (図書館 Web)</p> <p>3 専門図書館 (神戸大学震災文庫など)</p>	<p>■ 雑誌記事</p> <p>1 雑誌に掲載された震災記事・防災記事・論文をさがせます。</p> <p>2 雑誌記事索引 DB (図書館 Web → 電子ジャーナル・DB → データベース / 全分野 / CiNii, MAGAZINEPLUS など)、大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録 (1F 参考図書 抄録索引コーナー)</p> <p>3 明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成</p>
<p>■ 百科事典、参考図書</p> <p>1 震災・防災関連の基礎知識を得られます。</p> <p>2 百科事典 DB (ジャパンナレッジ・プラスN)、各種事典 (防災・震災管理ハンドブック、防災学ハンドブック、地震防災の事典、防災事典、環境・災害・事故の事典、リスク学事典、現代用語の基礎知識)</p>	<p style="text-align: center;">震災情報に関する 情報を集める</p>	<p>■ 白書・統計</p> <p>・ 総務省統計局 Web 東日本太平洋岸地域のデータ及び被災関係データ (避難者数、全壊住家数等)</p> <p>・ 防災白書 平成23年版に東日本大震災データあり (地震・津波の概要と応急対応等)。</p> <p>・ 日本統計年鑑 エネルギー別発電所数、最大出力量</p>
<p>■ パスファインダー</p> <p>1 パスファインダーはテーマ別の資料の探し方ガイドで、震災・防災関係の情報を扱ったものがあります。</p> <p>2 国立国会図書館リサーチナビ (東日本大震災復興支援関連情報)、レファレンス協同データベース (地震・災害 関連情報)、パスファインダーバンク、南山大学図書館パスファインダーなど</p>		<p>■ 映像資料</p> <p>震災を取り上げた視聴覚資料 (視聴覚ライブラリー、瀬戸図書館) 『地震・火山噴火：列島を襲った大災害』 『霞が関ビル超高層への果てなき闘い』 など</p>
<p>【凡例】 1 どのような時に使うか 2 おすすめツールとアクセス方法 3 その他関連資料・機関情報</p>		

図書館の使い方いろいろ

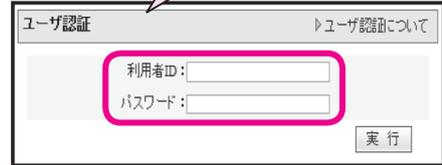


2 ▶ MyLibrary はこう使う！

MyLibraryは **南山大学 蔵書検索 (OPAC)** 内にある、ポータルサイトです。MyLibrary で利用できる機能やサービスを紹介します。



利用者 ID とパスワードを入力し、**実行** をクリックします。
* 詳細はカウンターにご確認ください。



MyLibrary

このページはあなた個人向けのページです。MyLibraryでの操作が終了したら、画面上部のログアウトボタンをクリックして必ずログアウトしてください。ログアウトしないまま放置すると、あなたの個人情報や他人に漏れたら、あなたの名義で依頼などの操作をされてしまう恐れがありますのでご注意ください。

1 貸出・予約の状況

貸出用数: 1冊 予約用数: 0冊

状態	書名等	貸出 予約日	返却 保管期限	予約解除 変更
貸出中	聖夜 / 佐藤多佳子等 - 文藝春秋, 2010.12. - (School and music).	2011.06.16	2011.06.30	

2 ILL 依頼状況

管理No.	状態	書名等	巻号・ 出版年月	依頼日
82	キャンセル	トナリ		2011.03.29

3 Myブックセルフ

4 オンラインレファレンス(文献調査などの依頼)

管理No.	レファレンス種別	件名	依頼日	回答日
4	レファレンス調査	巻号調査依頼	2011.03.29	2011.06.01

MyLibrary

- 1 図書館より
あっ、予約した本が届いてる。今日は、図書館に寄って帰ろうかな。
- 2 貸出・予約の状況
自分が借りている本の冊数や返却日、予約をかけた本の情報が確認できます。



- 3 ILL 依頼状況
自分が今、どんな本を何冊借りているかが、一目でわかるね。



- 4 MY ブックセルフ
自分が OPAC で探した本の情報や、検索に使ったキーワード・条件を保存しておくことができます。
- 5 オンラインレファレンス(文献調査などの依頼)
国内外の図書館に対して、本やコピーの取寄せを依頼する ILL 依頼ができます。自分が申込んだ ILL 依頼の状況も確認できます。
* MyLibrary から依頼ができるのは3・4年生、院生、教職員です。
1・2年生は各図書館のレファレンスカウンターで受付をしています。



でもこれって、個人情報だから、パスワードの管理はしっかりしておかないといけなくてよね。



そう、図書館の PC は利用が終わったら、必ずログアウトすることを忘れずに。

これは、レポートや卒論のときに使えるぞ。



4 MY ブックセルフ

自分が OPAC で探した本の情報や、検索に使ったキーワード・条件を保存しておくことができます。



一度保存しておけば、もう一度あの本を読みたいときにとっても便利ね。

その他にも、個人カレンダー、プロフィール情報管理、図書館に対する投書を確認することができます。

5 オンラインレファレンス(文献調査などの依頼)

文献の書誌事項(巻号や刊行年等)の照会や、所蔵館有無の所蔵調査などを依頼、回答の確認ができます。

図書館の使い方いろいろ



3 ▶ 短大コーナー 名古屋図書館新コーナー紹介

今春、南山短期大学図書館所蔵資料約40,000冊が名古屋図書館に移動しました。図書資料は地下1階書庫北側にあります。

☆ OPAC で検索すると次のように所在が表示されます。

予約・請求	媒体	請求番号	資料ID	巻	所在	状態	予約	返却予定	論文
	CD	S96/41v.0-5	J054649		名古屋 B1書庫短大 短大資料				

☆では、実際に名古屋図書館 B1 書庫へ行ってみましょう！



短大コーナー資料の特徴は、幅広く、入門に向いています。可愛いらしい資料も。また、DVDなどは、同じく地下1階マイクロ室にあります。どうぞご利用ください。 ☞資料紹介は10、11ページ

4 ▶ マルチメディアルーム 瀬戸図書館施設紹介

瀬戸図書館には、学術的な本や雑誌だけでなく、映画等のDVDやVHSのような視聴覚資料も置いてあることをご存知ですか？名古屋キャンパスの皆さんもぜひご利用ください。

Q マルチメディアルームって、どんな場所？どこにあるの？

A 瀬戸図書館の地下1階にある部屋です。瀬戸図書館が持っている視聴覚資料のほとんどが置いてあり、視聴するための機器も設置されています。2人、4人掛けブースは、CNNが視聴できます。



Q どうやって利用するの？

A 空いているブースを自由に利用することができます。ルーム内の機器は、図書館で所蔵している資料の視聴を目的としているので、個人的にレンタルしたDVD等は視聴をお断りいたします。

*マルチメディアルームの利用時間は、瀬戸図書館の閉館15分前までです。

■利用後のお願い：ブースの使用後は、電源を切り、椅子やヘッドフォンを元の位置に戻してください。DVDはDVDディスクをケースに戻し、ルーム内の返本台に置いてください。

(閲覧・参考係、教育研究支援係)



図書館研修生を体験して

鮫島 悠

私は図書館研修生として、学生用資料の選定の研修をさせていただいています。私は司書として図書館で働くのが夢だったので、研修生の募集の紙を見て応募しました。

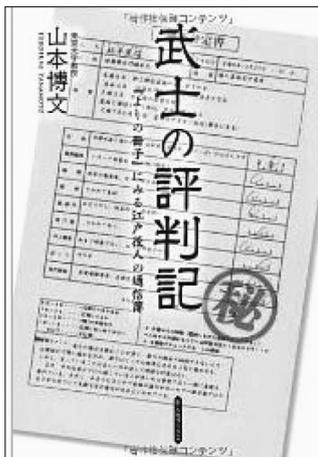
選定とは、その資料が南山の図書館資料の収書方針にあてはまるかどうかを判断して選ぶ作業のことで、予算にもかかわる重要な作業です。私はその判断をどうやって行っているのかが気になり、学生用資料の選定の研修を選びました。

実際に研修に参加してみて驚いたのは、普段見えない図書館の裏側では予想以上にたくさんの方の方が作業を行っていたということです。図書館を利用するにはこれだけのたくさんの方の力が必要なのだと改めて思いました。

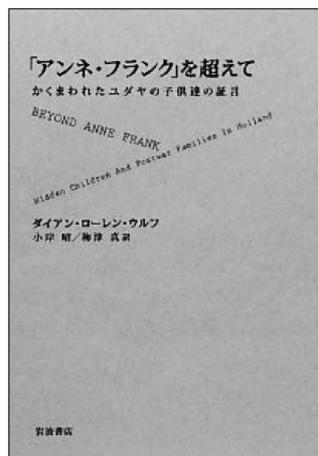
研修では選定の流れや注意点などを教えてもらい、本の情報が載っているカタログなどから選んだ本を、書店から取り寄せてもらい、南山の図書館の蔵書としてふさわしい資料かどうか、購入するかしないかを、実際に内容を見て決める「見計らい」という作業をしています。自分の好みではない違う基準で本を見るという経験はあまり無かったので難しくもありますが、同時にそれが普段のレポートなどの資料選びにもつながることばかりなので学ぶことが多いです。

以下の3冊は今回の研修で私が選定し、配架された資料の一部です。是非利用してみてください。

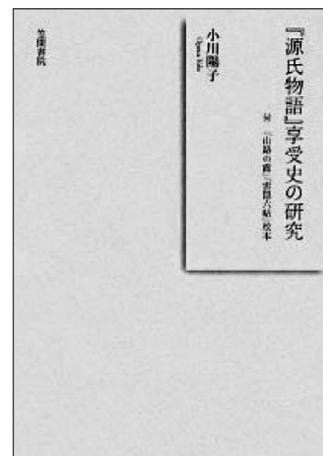
選定した資料



新人物往来社、2011年
請求番号：210K/8954



岩波書店、2011年
請求番号：316.8K/1303



笠間書院、2009年
請求番号：913K/3624

(SAMESHIMA, Haruka : 図書館研修生)

資料紹介

英米児童文学賞受賞作品のコレクション

2011年4月、南山短期大学が「南山大学短期大学部」として名古屋キャンパスに移転してきました。同時に、短期大学図書館に所蔵していた資料（名古屋図書館と重複していないもの）も、図書館の地下1階書庫に移設し、皆さんに利用していただけるようになりました。

この「短大コーナー」の特徴としては、読みやすい一般書が多いということや、欧米の児童文学、絵本が充実していること等が挙げられます。なかでも、アメリカとイギリスのもっとも権威ある児童文学賞である「ニューベリー賞」、「カーネギー賞」の受賞作品が蒐集されていますので、今回は、原書と翻訳の両方を所蔵しているものからいくつかご紹介します。英語学習のためだけでなく、大人の心にも沁みる名作をどうぞご堪能ください。

■ニューベリー賞受賞作品から

<p>■ The Voyages of Doctor Dolittle / Hugh Lofting (ヒュー・ロフティング) 請求番号：933/1197 ドリトル先生航海記／請求番号：909/8/v.1022</p>	<p>■ Jacob Have I Loved / Katherine Paterson (キャサリン・パターソン) 請求番号：933/1169 海は知っていたールイズの青春／請求番号：933/1390</p>
<p>■ Thimble Summer / Elizabeth Enright (エリザベス・エンライト) 請求番号：933/1211 指めきの夏／請求番号：909/8/v.160</p>	<p>■ Sarah, Plain and Tall / Patricia MacLachlan (パトリシア・マクラ克蘭) 請求番号：933/1158 のっぼのサラ／請求番号：933/1251</p>
<p>■ Adam of the Road / Elizabeth Janet Gray (エリザベス・グレイ・ヴァイニング) 請求番号：933/1202 旅の子アダム／請求番号：933/1249</p>	<p>■ Missing May / Cynthia Rylant (シンシア・ライラント) 請求番号：933/1108 メイおばちゃんの庭／請求番号：933/1248</p>
<p>■ Miracles on Maple Hill / Virginia Sorensen (ヴァージニア・ソレンセン) 請求番号：933/1161 メープルヒルの奇跡／請求番号：933/1245</p>	<p>■ The Giver / Lois Lowry (ロイス・ローリー) 請求番号：933/1104 ギヴァー 記憶を注ぐ者／請求番号：933/1392</p>
<p>■ The Witch of Blackbird Pond / Elizabeth George Speare (エリザベス・ジョージ・スピア) 請求番号：933/1182 からすが池の魔女／請求番号：933/1396</p>	<p>■ Walk Two Moons / Sharon Creech (シャロン・クリーチ) 請求番号：933/1117 めぐりめぐる月／請求番号：933/1256</p>
<p>■ Shadow of a Bull / Maia Wojciechowska (マヤ・ボイチェホフスカ) 請求番号：933/1163 闘牛の影／請求番号：909/8/v.3144</p>	<p>■ The View from Saturday / E.L. Konigsburg (E.L. カニグズバーグ) 請求番号：933/1115 ティーパーティーの謎／請求番号：909/8/v.51</p>
<p>■ From the Mixed-Up Files of Mrs. Basil E. Frankweiler / E.L. Konigsburg (E.L. カニグズバーグ) 請求番号：933/1162 クロードアの秘密／請求番号：909/8/v.2077</p>	<p>■ Out of the Dust / Karen Hesse (カレン・ヘス) 請求番号：933/1109 ビリー・ジョーの大地／請求番号：933/1250</p>
<p>■ The High King / Lloyd Alexander (ロイド・アリグザンダー) 請求番号：933/1172 タラン・新しき王者／請求番号：933/1388/v.5</p>	<p>■ Holes / Louis Sachar (ルイス・サッカー) 請求番号：933/1114 穴／請求番号：933/1387</p>
<p>■ The Grey King / Susan Cooper (スーザン・クーパー) 請求番号：933/1175 灰色の王／請求番号：933/1389/v.3</p>	<p>■ Bud, Not Buddy / Christopher Paul Curtis (クリストファー・ポール・カーティス) 請求番号：933/1121 バドの扉がひらくとき／請求番号：933/1246</p>

<p>■ A Year Down Yonder / Richard Peck (リチャード・ベック) 請求番号: 933/1111 シカゴより好きな町/請求番号: 933/1257</p>	<p>■ The Tale of Despereaux / Kate DiCamillo (ケイト・ディカミロ) 請求番号: 933/1106 ねずみの騎士デスペローの物語/請求番号: 933/1260</p>
<p>■ A Single Shard / Linda Sue Park (リンダ・スー・パーク) 請求番号: 933/1110 モギ ちいさな焼きもの師/請求番号: 933/1254</p>	<p>■ Kira-Kira / Cynthia Kadohata (シンシア・カドハタ) 請求番号: 933/1107 きらきら/請求番号: 933/1258</p>
<p>■ Crispin: The Cross of Lead / Avi (アヴィ) 請求番号: 933/1105 クリスピン/請求番号: 933/1253</p>	<p>■ The Higher Power of Lucky / Susan Patron (スーザン・パトロン) 請求番号: 933/1159 ラッキー・トリンプルのサバイバルな毎日/請求番号: 933/1247</p>

■カーネギー賞受賞作品から

<p>■ The Wind on the Moon / Eric Linklater (エリック・リンクレイター) 請求番号: 933/1299 変身動物園: カンガルーになった少女/請求番号: 933/1339</p>	<p>■ Dear Nobody / Berlie Doherty (バーリー・ドハティ) 請求番号: 933/1338 あなたへの手紙/請求番号: 933/1281</p>
<p>■ The Last Battle / C. S. Lewis (C. S. ルイス) 請求番号: 909/98/v.7 さいごの戦い(ナルニア国物語7)/請求番号: 909/8/v.2107</p>	<p>■ Flour Babies / Anne Fine (アン・ファイン) 請求番号: 933/1399 フラワー・ベイビー/請求番号: 933/1275</p>
<p>■ The Lantern Bearers / Rosemary Sutcliff (ローズマリ・サトクリフ) 請求番号: 933/1297 ともしびをかかげて上・下/ 請求番号: 909/8/v.581、909/8/v.582</p>	<p>■ River Boy / Tim Bowler (ティム・ボウラー) 請求番号: 933/1348 川の少年/請求番号: 933/1269</p>
<p>■ The Machine Gunners / Robert Westall (ロバート・ウェストール) 請求番号: 933/1287 "機関銃要塞"の少年たち/請求番号: 933/1268</p>	<p>■ Postcards From No Man's Land / Aidan Chambers (エイダン・チェンバーズ) 請求番号: 933/1344 二つの旅の終わりに/請求番号: 933/1280</p>
<p>■ A Pack of Lies / Geraldine McCaughrean (ジェラルディン・マコックラン) 請求番号: 933/1295 不思議を売る男/請求番号: 933/1271</p>	<p>■ The Graveyard Book / Neil Gaiman (ニール・ゲイマン) 請求番号: 933/1237 墓場の少年/請求番号: 933/1384 (ニューベリー賞・カーネギー賞ダブル受賞)</p>

これらはほんの一部です。他にも、原書のみ、翻訳書のみ所蔵しているものや、短大コーナー以外に配架されているものもあります。短大コーナーでは、受賞作品の背表紙にそれぞれ「Newbery Medal」「Carnegie Medal」という目印が貼ってあります。是非探してみてください。

それぞれの作品の内容や世界の児童文学についてもっと知りたい方は、以下の資料等も参考にしてください。

■ **賞をとった子どもの本: 70の賞とその歴史**

請求番号 短大909/224

■ **ほんとうに読みたい本が見つかった!**

請求番号 短大909/215

■ **七つのテーマから読み解く英米児童文学**

請求番号 短大909/223

■ **世界少年少女文学** リアリズム編、ファンタジー編

請求番号 短大909/227/v.1, v.2

■ **オックスフォード世界児童文学百科**

請求番号 名古屋 R/909/343/v.0-2/A

瀬戸 R/909L/343/v.0-2

■ **The Oxford encyclopedia of children's literature v.1 ~ v.4**

請求番号 名古屋 R/909/351/v.1 ~ v.4

(FUJITA, Miho: 図書選定委員 藤田 三保)

2011年度 秋学期図書館利用講習会 開催のお知らせ 【名古屋図書館・瀬戸図書館 共通】

- 個人・グループ向け講習会
「図書館の基本的な利用方法」や「文献探索のコツ」をはじめ、みなさんのリクエストに沿った内容で行います。一人、または友達と一緒にどうぞ。
- ゼミ・授業単位の講習会（授業の担当教員よりお申込みください。）
初級：図書館の基本的な利用方法、館内ツアーなど。
中級：文献の探し方・入手方法、各種データベースの紹介など、授業内容に合わせて行います。

開催期間	9月26日（月）～12月7日（水）授業日の月～金 *5限以降、および土・日曜日は開催いたしません。
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ■個人・グループ向け講習会 （学部生・院生対象／所要時間：60分） ■ゼミ・授業単位の講習会 （ゼミ・授業単位対象／所要時間：90分）
申込先	受講を希望するキャンパスの図書館レファレンス・カウンターへ申込書をご提出ください。 *先着順で受付いたします。 *申込書は図書館 Web ページの「お知らせ」からもダウンロードできます。
申込期限	個人・グループ向け講習会…受講希望日の2日前まで ゼミ・授業単位の講習会……受講希望日の1週間前まで
問合せ先	名古屋図書館：閲覧・参考係（内線1342） 瀬戸図書館：教育研究支援係（内線4511）

春学期に講習会を受けて、「もっと詳しく知りたい」という方もぜひお申込みください。

詳細は図書館 Web ページ、または館内掲示等にてご案内いたします。

南山大学図書館 秋の企画展

『カトリック布教用図版展』 ～中国布教画の紹介～

- | | |
|-----------------|---|
| 瀬戸キャンパス | 期間 2011年10月15日（土）～2011年10月23日（日）
場所 瀬戸図書館 ブラウジングコーナー 横 |
| 名古屋キャンパス | 期間 2011年10月25日（火）～2011年11月6日（日）
場所 名古屋図書館 ブラウジングコーナー |

普段は目にすることができないカトリック関連の貴重な資料を展示します。この機会にぜひ一度図書館をのぞいてみてください。

《編集後記》

4月より移設された短大コーナー、あなたはもう足を運んでみましたか。まずは、今号で紹介されている文学賞受賞作品から手に取ってみませんか。（高）



<名古屋キャンパス>



<瀬戸キャンパス>

南山大学図書館報 デュナミス No.60
 2011. 10. 1 発行
<http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>
 発行：南山大学図書館 広報委員会
 編集委員：山辺、若林、高橋
 印刷：一誠社
 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
 Phone:052(832)3707/Fax:052(833)6986
 ※図書館Webページでもご覧いただけます。